

いわで

議会だより

2016.03

39

Contents

- 2 定例会議決結果
- 3 一般質問
- 10 特集・ボランティア紹介
本会議開催予定日

岩出市議会ホームページ
<http://www.city.iwade.lg.jp/ja/iwadeshigikai.html>

※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスでき
ます。



QRコード

平成27年第4回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 –……賛否に加わっていない）															
		公明党 議員団		日本共産 党議員団		岩出クラブ		郁青青 クラブ		ネット岩出			尾 和 弘 一				
		宮 本 要 代	玉 田 隆 紀	田 畑 昭 二	市 来 利 恵	増 田 浩 二	西 野 豊	上 野 耕 志	福 山 晴 美	山 本 重 信	三 栖 慎 太 郎	松 下 元		井 神 慶 久	梅 田 哲 也	田 中 宏 幸	吉 本 勸 曜
平成26年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度岩出市水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定について	可 決 及 び 認 定	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市税条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市入湯税条例の一部を改正する条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市地方活力向上地域における固定資産税の特例措置に関する条例の制定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度岩出市一般会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療制度の保険料に関する請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
後期高齢者医療制度の保険料軽減特例の継続に関する請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
安全保障関連2法（国際平和支援法・平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

（議長のため、賛否に加わることができない。）

一般質問

7名の議員が市政を問う

* 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
* 内容等については、質問者にお問い合わせください。

宮本要代 議員 4頁

- ◎ 18歳選挙権について
- ◎ 高齢者向け肺炎球菌ワクチンの定期接種について

福山晴美 議員 5頁

- ◎ 教育行政について
- ◎ 高齢者の居場所づくり

増田浩二 議員 6頁

- ◎ 道路整備について
- ◎ 教育文化ゾーンにふさわしい根来寺周辺の環境整備を

市來利恵 議員 7頁

- ◎ 臨時職員等の処遇改善を。安心して働き続けられる職場にするために
- ◎ こどもの医療費助成制度と償還払いについて

田畑昭二 議員 8頁

- ◎ 認知症対策について
- ◎ 健康寿命の長い方への表彰を
- ◎ 当市の国際化をめざし、姉妹都市の提携を

尾和弘一 議員 9頁

- ◎ 資金運用について
- ◎ 付属機関について
- ◎ 固定資産税について
- ◎ 男女同権について
- ◎ 労働安全について
- ◎ 隣接市との境界について
- ◎ 市民プールでの事故について

* 吉本勤曜議員も一般質問を行いました。本人の申し出により掲載を辞退しております。

◇一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表しています。ぜひ、ご覧ください。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

18歳選挙権の広報・啓発を

質問

公職選挙法改正が成立。7月の参議院議員選挙から18歳以上の国民が投票できる。選挙が初となる対象者への広報・啓発は。また、投票立会人も18歳以上の参加を。

答 弁 行政委員会事務局長

初めて選挙人名簿へ登録された人全員に、投票に参加できるようになたお祝いと、この権利を積極的に行使するとともに、一票を大切に使うてほしいというハガキを発送し、選挙への関心を高める啓発に努める。12月16日、那賀高校で

公職選挙法改正 18歳以上に



模擬投票

3年生を対象に、「出張を実施。投票箱、記載台、枚数計算機の貸し出しや模擬投票での候補者役を担当し、協力している。立会人の募集も、年齢を引き下げた形での実施を検討する。

質問

義務教育の中で、主体的に社会に参画する態度を身につけさせる主権者教育の実施を。

答 弁 教育長

子どもたちの発達段階に応じて、憲法や選挙、地方自治、政治参加に関する教育が行われている。「選挙の大切さを知ろう」をテーマに、「出張」を。県政おはなし講座」を、平成26年に岩出小学校、平成27年に中央小学校で6年生を対象に開催。選挙についての講義、クイズや模擬投票の取り組みをした。義務教育段階から、これまで以上に主権者教育を推進することが重要。

質問

忘れていませんか
高齢者向け肺炎球菌
ワクチンの接種を

日本人の死因第3位。高齢者の死亡率が高い肺炎の予防を目的に、一昨年10月から成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化が始まった。制度は複雑で、対象者に対して十分な周知が必

答 弁 生活福祉部長

肺炎球菌ワクチンはB類疾病の定期接種。対象者がみずからの意思で希望し、接種するもので、未接種者への再度の個別通知は考えていない。要。また、より丁寧にきめ細やかな対応が望まれる。「忘れていませんか」と未接種者に、再度の個別通知を。

広報いわで平成28年1月号で記事を掲載する。今後、近隣自治体の動向を調査。広報紙等による周知・啓発を進める。





福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

教育現場の状況は



質問

小中学校の教員が負担と感じる業務に、国や教委からの調査アンケート・保護者・地域からの要望、苦情などへの対応・研修会や教育研究の事前レポートや報告書の作成等が挙げられている。
横浜の小中学校で、先生のサポートをする「職員室業務アシスタント」を始めたところ、教員が子どもとかかわる時間が増えたであった。
育てる人の心に余裕があるのと無いのでは大きく違うと考える。
先生が多忙といわれているが、その状況と対応は。

答 弁 教育部長

かつては余り見られなかった事務等への対応が増加している。
・特別支援を必要とする子どもへの介助員17名を配置している。
・岩出図書館から司書派遣を行っている。
・根来小学校では、地域の方で授業の補助や子どもをの安全を見守っていただき、教員の負担を軽減しているものと思われ、このような取り組みのノウハウを各学校に広げていく考え。
・教員の負担軽減等の人的措置は、県教育委員会であり、できるだけ多くの加配教員等の配置を常に要望している。

高齢者の居場所づくり

質問

高齢者交流の場を各地域でボランティアの方達により、さまざまな形で交流の場所づくりが行われている。
認知症が社会問題となつて、認知症に不安と感じる人が大変多くなつてきている。
認知症を理解し、思いやりの心を持ち、手助けや見守りができればと考える。

- ① 高齢者交流事業について（ゆったりカフェ）
- ② 認知症を見守るまちづくり

答 弁 生活福祉部長

① 平成29年度から実施する日常生活支援総合事業のモデル事業。
いわで御殿で毎月1回開催している。
今後、市内各地域での開催を検討している。

答 弁 教育部長

② 学校においても認知症を含む高齢者への理解を深める教育は、重要性を増すと考えている。



ゆったりカフェ

地方創生に活かせ 根来寺周辺



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



前山から見た根来谷

質問

①根来寺周辺は、教育・文化ゾーンの位置づけがされています。五百仏山と根来山に挟まれる根来谷について、司馬遼太郎連載の「街道をゆく」の紀行集で、国特別史跡の浅井家が治めた「乗合」の眺望に匹敵する見事な地形と絶賛し、貴重な展望広場と書かれています。前山遊歩道という、すばらしい場所があること自体を知らない市民も多いのではないかと。五百仏

山遊歩道には、四国八十八力所の祠が祀られ、あずまやも設置しています。しかし、案内看板も古ぼけて見えにくい状態で、朽ち果てた防火看板などもあり、良い印象を与えません。地方創生と言われる中、この場所を活かし、活用することこそ求められているのではないかと。

②環境整備として、住持池や坂本神社方面も総合的な遊歩道や散策道の整備を考へては。

東西道路の整備は

質問

①東西を結ぶ道路が少ない中、長期計画素案には、南北の幹線道路等への主要幹線道路を結ぶ道路の建設計画に取り組みとあるが、どの地域を想定し、事業を進めるのか。

②京奈和道路の案内表示板面で、大型農道交差点で和歌山方面案内がある。

答 弁 事業部長

①五百仏山遊歩道は、月一回ボランティアによる倒木処理、草刈りなどを実施しています。

遊歩道の大半は市の土地ではなく補助金を活用し、整備することはできないが、PRという方向で検討していきたい。

答 弁 産業振興課長

②根来寺周辺観光促進事業エリアは、住持池方面は考へていません。一乗閣、根来寺、図書館等中心部の整備を図る。

質問

粉河加太線合流部や根来小学校東交差点部、農免道路でも川尻交差点東西部分などでは京奈和道路への案内表示はありません。他府県から来られた方の利便性を図る上で、県に案内表示設置の働きかけをすべきではないか。



答 弁 事業部長

①東西の幹線道路は、これ以上必要ないと考へています。幹線道路への接続道路の拡幅事業に取り組んでいます。開発協議において、できる限り、通り抜けや環状化を図るよう指導している。

②関係機関と協議の上で検討を行っており、問題は無いと考へています。標識を設置しすぎると、かえって混乱を招き、主要幹線道路を使って誘導するようになっています。

医療費助成

窓口で1割に

臨時職員の処遇改善を

質問

子ども医療費助成制度が変更され、3ヶ月が経過しました。市に寄せられている市民の声や意見は、どういったものか。

答 弁 生活福祉部長

「医療機関で1割負担にしてほしい」「申請に来るのが面倒」といった声も聞かれるが、多数の方には喜んでいただいている。

質問

9月議会で、現物給付する上において、その環境が整っていないと答弁されているが、いつ環境が整うのか。

答 弁 生活福祉部長

現在、社会保険診療報酬支払基金や国保連合会と検討しているところ。実施が可能かどうかを判断できる段階には至っていない。

答 弁 生活福祉部長

1割負担にしているのは、少額でも自己負担していただくことで、子どもを病気や事故等から守るといふ、子育てする立場としての務めを果たしていただけるものと考えている。

質問

① 仕事内容や責任に応じた賃金となっているのか。

答 弁 総務部長

① 市の臨時職員は、154人が在籍している。賃金、手当及び休暇は、岩出市臨時的任用職員の給与等に関する条例及び岩出市臨時的任用職員の任用等に関する要綱に基づき、支給及び付与している。

② 臨時的職員は、臨時の職に従事するという趣旨、性格から経験年数加算はなじまないと考えている。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

質問

和歌山県内、年齢の条件など、制度が個々に違っても受領委任払いで各自治体は実施している。市は、1割の自己負担を求め、償還払い方式が考えられていないか。



② 保育士の経験年数加算について、保育士は経験です。非常勤であってもクラスを担任するなど、長期にわたり正職員と同様の仕事をしていると考えます。

和歌山県内でも自治体请加算を実施している。市でも実施を。





田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

認知症簡易チエツカ
ーの導入を

質 問

・認知症にとって大事なことは、早期発見、早期治療であり、認知症簡易チエツカーの導入の考えは。

・当市の認知症サポーター及びサポーターリーダーは何名か。
・小中学生対象の「認知症サポーター講座」の開催の考えは。

認知症ケアパスを作成する予定である

答 弁 生活福祉部長・教育部長

認知症簡易チエツカーは、パソコンや携帯電話、スマートフォンで、高齢者本人や家族等が簡単に認知症のチェックができるなど、認知症の早期発

認知症簡易チエツカー導入を

見に有効である。

本市では、今年度、認知症の人や家族を支援するための様々な情報をまとめた、認知症ケアパスを作成することとしており、認知症予防のためのチエツクリストも掲載する予定であり、広く周知をしていくので、認知症簡易チエツカーの導入の考えはありません。

認知症サポーターは、平成27年11月末現在、697人、また、講師ができるキャラバンメイトは20名です。

小中学校とも認知症に限定した教育を行っているませんが、質問いただいた趣旨を学校に伝え、認知症に関する学習の機会を奨励していく。



元気なお年寄り

健康寿命の長い方への表彰を

質 問

健康寿命とは、介護保険を使わず、自力でがんばっている年齢であり、ある一定の基準で表彰をさし上げてはどうか。

高齢者施策の充実に
取り組む

答 弁 生活福祉部長

介護保険サービスを利用できる人数は10,819名で、その内82.6%の8,934名が介護認定を受けていない方で、公平・公正な選考を担保することは困難であり、今後引き続き、高齢者施策の充実に取り組みます。

国際化をめざし
姉妹都市の提携を

質 問

・当市も市制施行満10年を迎え、観光事業にもウエイトが置かれる。今、国際都市をめざす観点から、姉妹都市の提携を考えてはどうか。
・当市の職員で、英語など、外国語を話せる職員は何名いるのか。

国際化は重要であり
様々な施策を検討

答 弁 市長・市長公室長

和歌山県の玄関都市としての特性を持つ岩出市として、国際化はめざすべき方向の一つであると認識している。市民や市民団体の国際交流活動の動向を見守りながら、要望があれば、支援を含めて検討していく。

高等教育等で、英語など外国語を学んでいる職員は11名いるが、今後様々な国際化に伴い、外国語標示や職員確保も検討。



国際交流



尾和 弘一 議員

5歳児溺れ・死亡 安全対策を

質問

市民プールで児童が死亡したことに關して

①9月16日以降の経過はどうか。

②問題点や課題、今後の対策を含めてどうか。

③第三者委員会の設置する考えはどうか。

④市長は行政報告で一言も触れていない。責任逃れではないのか。

答 弁 教育長

①家族との話し合いでは、市側の問題点や瑕^{がし}疵^{がし}等も踏まえ、話し合いで解決すべく、できるだけ誠意ある対応をし、継続して遺族の方と現在協議をしている。

②監視員は、本児が母親から離れ、大プールに移動しているところや入った瞬間を見ていなかった。これからは、安全管理マニュアルに反映し確実に実行していく。

③第三者委員会については設置する考えはない。

答 弁 市長

④今回の事故は、市の施設で起こった死亡事故であること、本市の保育所の園児であることを重く受け止めており、亡くなられた男児のご冥福をお祈りし、心からお悔やみ申し上げます。

家族の気持ちに寄り添い、誠意を持って話し合いで解決するよう、教育委員会に対し指示をしています。

平成28年度のプールの運営には、全庁体制で取り組んでまいります。



溺死した堀口市民プール

職場において、最も重要なことは楽しく仕事ができる環境である。風通しがよく、ストレスのないことが市民サービスに寄与できる。

質問

①労働安全衛生法改正により、ストレスチェックの実施が義務化されたがどうするのか。

②いつ実施するのか。

③産業医は、月一回職場を巡視しているのか。

答 弁 総務部長

①今年12月から毎年1回検査を実施することが義務づけられた。

②平成28年7月の職員健康診断と同時期にストレスチェックを行い、その後、結果に基づき面接を計画している。

③職場巡視・健康相談・保健指導・委員会に出席し意見及び助言をいただいている。

固定資産税の 減免を求める

質問

核家族の増加で二・三世代同居世帯に対する固定資産税を3年間全額減免してはどうか。泉南市では条例で実施していく。

答 弁 総務部長

県外の一部には支援策として減額する措置をとっておりますが、岩出市は、現在のところ、導入予定はない。

県内9市でも、やっていない。



二・三世代同居住宅の玄関入口



ボランティアを紹介します

ボランティアの皆様 いつもありがとう



今回は、「一声の議会だより」を作成していただいている「朗読グループ 岩出やよい会」の皆様を紹介いたします。

会員数は33名で、取材当日は10名程の方が、議会だよりの録音をされていました。

一字一句を、細かくチェックし、発音・アクセントにも注意を払い、張り詰めた緊張感の中、繰り返し録音を続けられていました。



原稿を読みやすくするために事前に点検し、録音も丸一日かけてされるそうです。

聞き手に、よりわかりやすく、正確に伝わるようにとの思いが感じられました。車などの騒音で録音が中断することもあるので、防音室での録音を望んでおられました。

他にも、岩出図書館で読み聞かせの活動をしています。

2月26日(金)	施政方針・議案説明
3月 3日(木)	質疑・委員会付託
17日(木)	討論・採決
22日(火)	一般質問
23日(水)	一般質問



第1回定例会(3月)の本会議開催予定日は次のとおりです。ぜひ、傍聴にお越しください。

議会広報常任委員会

(委員長) 田畑 昭二 (副委員長) 市來 利恵
 (委員) 宮本 要代 梅田 哲也 三栖慎太郎 吉本 勸曜 福山 晴美